科目名	データサイエンス入門　　Introduction to Data Science						
科目担当者	岡 夏樹　　OKA Natsuki						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 法学部・法律学科［専門教育科目　関連科目］					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	● 社会におけるデータ・AI 利活用の最新状況について学ぶ（教科書第 1 章） ● データリテラシーの基礎的事項を学ぶ（教科書第 2 章） ● データ・AI 利活用の心得について学ぶ（教科書第 3 章）						
授業の到達目標	① データ・AI 利活用の最新状況が分かる ② データリテラシーの基礎的事項が身につく ③ データ・AI 利活用の心得を理解する						

授業計画・内容		
	1	1.1 社会でおきている変化（1）：SNS に関連する変化など
	2	1.1 社会でおきている変化（2）：AI に関連する変化など
	3	1.2 社会で活用されているデータ
	4	1.3 データと AI の活用領域
	5	1.4 データ・AI 利活用のための技術（1）：予測、クラスタリングなど
	6	1.4 データ・AI 利活用のための技術（2）：可視化、パターン認識など
	7	1.5 データ・AI 活用の現場
	8	1.6 データ・AI 利活用の最新動向
	9	2.1 データを読む（1）：データの分布と代表値など（Python の実習を含む）
	10	2.1 データを読む（2）：相関、標本抽出など（Python の実習を含む）
	11	2.2 データを説明する（Python の実習を含む）
	12	2.3 データを扱う（1）：データの集計と並べ替え、ヒストグラム、散布図（エクセルの実習を含む）
	13	2.3 データを扱う（2）：データの集計と並べ替え、ヒストグラム、散布図（Python の実習を含む）
	14	3.1 データ・AI を扱う上での留意事項
	15	3.2 データを守る上での留意事項

授業外学修 (事前学修)	● 教科書の次回授業範囲に目を通しておく（毎週 1 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	● 各回の復習をしつつ、その週の小テストやミニレポートに取り組む（毎週 2 時間程度） ● 期末試験に備え、全体の復習をする（１５時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	● 毎回の小テストやミニレポート	５０％	①→②→③
	● 期末試験	５０％	①②③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	『教養としてのデータサイエンス　改訂第２版』、北川源四郎／竹村彰通・編　内田誠一他著、（講談社）：授業計画・内容の先頭の数字はこの教科書の章・節番号です。
参考文献	
その他	● どんな学生の受講が望ましいか：データサイエンス、AI に興味がある。今の時代の教養として、データサイエンス入門は勉強しておきたい。 ● 以下の科目の履修は本科目の理解を助けるが、履修していない学生に配慮して授業を進める：「基礎数学 I,II、統計学 I,II、プログラミング基礎 I,II」 ● Python の実習を含むが、プログラミング未経験者も心配不要。生成 AI を利用することで、助言してもらえたり、質問に答えてくれたり、プログラムの書き方を教えてくれたりするので初めてでも大丈夫。期末試験も含めて生成 AI の活用を推奨。